

市内の子どもたちが、絵画コンクールで
優秀な成績を収められました。



第85回兵庫県小・中・高校絵画展
学年優秀作品賞



山口寛太さん（社小1年）
「ジンベイザメとあそんだよ」

1年生の社会見学で海遊館に行ったときのように
すです。たくさん魚を描いたほうが楽しい絵にな
ると思って、違う水槽の魚も一緒に描きました。
これからも楽しい絵を描いていきたいです。



第64回兵庫県幼・小・中造形教育展
神戸市教育委員会賞



藤原弘樹さん（東条西小3年）
「人がいっぱい楽しいよ」

家の近くのスーパーマーケットにある、僕の好
きなお菓子売り場が、たくさんの人でにぎわっ
ているようすです。商品を細かく描くことと、肌
の色に変化をつけることを心がけました。

平成24年度「児童・生徒の交通安全ポスター展」
最優秀賞（県知事賞）



井上ほのかさん
（社小5年）
「車にも乗せよう
マナーと思いやり」

歩行者の安全を考えて
このシーンを選びまし
た。見やすくするため、
色を濃くしました。絵を
見た人の住む街に、マ
ナーと思いやりがあふれ
れば嬉しいです。

新春に飛躍を誓う



市内の各種団
体や企業間の親
睦と交流を深め
るために、1月
12日にやしる国
際学習塾で「加
東市新春交歓
会」が開催され
ました。

会では、市応援歌「勇躍加東」の合唱や鏡開きなどが
行われ、参加された約180人は新年の抱負を語り合うな
ど、話に花を咲かせていました。

看護への思い新たに



平成24年12月
19日、播磨看護専
門学校で「看護誓
いの儀」が行われ、
1月から初めての
看護実習に臨む1
年生36人が、ナ
イチンゲル像
から継承の灯を
受け継ぎ、看護への誓いのことばを延べ、その責任と誇
りを新たにされました。

サッカー関西代表に選抜



社小学校6年生の上月健吾さん
（社）が、JFAナショナルトレセンU
-12の代表選手に選ばれ、昨年12月
25日から28日まで、大阪府堺市でサ
ッカーの指導を受けられました。

上月さんは、友人に誘われて小学
校1年生からサッカーを始め、社FC
で週3回練習に励んでいます。今回、
ゴールキーパーとして関西代表に選
抜され、日本代表のゴールキーパー
コーチらから特訓を受けた上月さん
は、「県大会に出たことはあるが、全
くレベルが違う。細かい指示や分
かりやすい指導でかなり成長でき
た」と話し、「中学生になったらさら
に上の西日本代表、全日本代表を
目指し、誰からもすごいと言われる
選手になりたい」と張り切ってい
ました。

ありがとうございます

藤本正幸さん（松尾）

ケアホームかとうへ、DVDプレイヤー、ソフトな
ど（3万円相当）を寄贈いただきました。

岸本治郎さん（神奈川県）

「出身地、ふるさと支援のために」と、ふるさと
納税として、現金1万円を寄附いただきました。

～プロの歌声に感動～ 小野和子さん歌謡ショー



1月16日、ケアホームか
とうで小野市出身の演歌歌手・
小野和子さんの歌謡ショーが
開催され、利用者のお年寄り
や家族ら約120人が生の歌声
を楽しみました。

ケアホームかとうを利用さ
れる上月アツ子さんが開いて
いた編み物教室に小野さんが
通っていた縁で、今回のショ
ーが実現。小野さんは、持ち
歌「母恋三度笠」などを熱唱
されたほか、「高校三年生」
や「リンゴの唄」などを利用者らとともに歌われました。また、歌の合間には利用
者に「歌は好きですか」などと話しかけ、交流を深められました。

小野さんは、全国各地でチャリティー演奏会を開き、その収益で購入した車いす
を福祉施設に贈る活動を続けられています。3月には、ケアホームかとうにも車いす
を3台寄贈いただけることになりました。ありがとうございます。

市内各地で避難訓練を実施

阪神大震災から18年が経過した1月17日、市内の学校などで避難訓練
が行われました。鴨川小学校では、毎年、この日に合わせて地震を想
定した避難訓練を実施していますが、今回初めて鴨川保育園と合同で
行われました。

午前9時40分、「地震が発生し、裏山が崩れて危険」と校内放送が流
れると、全校生19人と園児21人が運動場に集合。約1km西にある、避難
所に指定されている下鴨川公民館まで、高学年を先頭に一列になって
避難しました。

子どもたちは先生から、いつ起こるか分からない巨大地震の話など
を聞いたり、防災備蓄倉庫内を見学したりし、地震への心構えを新た
にしていました。



素敵なクリスマスイブの思い出

平成24年12
月23日に社中
央公園ステラ
パークで、4回
目となる「地
球にやさしい
クリスマスイ
ブ」が開催さ
れました。



社高校生ら
によって廃食油から手作りされた約3,000本のろうそ
くに、来場者らが火を灯すと、会場は暖かな光に包
まれました。

また、伝の助うどんやぜんざいなどの炊き出しの
ほか、ミュージックベルの演奏や花火なども行わ
れ、会場には笑顔があふれていました。

加東伝の助の紙細工で被災地を応援



1月9日、通所介護施設「デイハウスみのり」利
用者のみなさんから、「加東伝の助」を題材にし
た紙細工を寄贈いただき、市役所社庁舎ロビーに
展示しています。

小さな紙を丸めたものを1万ピース以上も貼り
合わせてあり、完成までに1年以上を費やしたと
のこと。東日本大震災の被災地を励ます絵柄で、
利用者らは「これが自分たちにできる応援」と笑
顔で話されました。